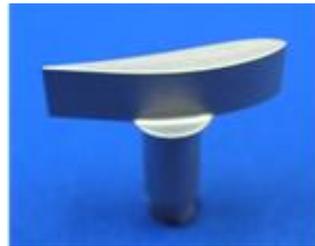


2019年8月8日

**自動車用ターボ部品の量産における基本合意についてのお知らせ**

当社は大手ターボメーカーと自動車用ターボ部品、ノズルベーンをはじめとする数品種の量産に関する基本合意を締結致しました。当社は今後、約1年を要し、下記手順により量産準備に入ります。(量産開始予定:2020年中旬)

- 試作(当社)
- 評価(客先)
- 承認(自動車メーカー)
- 量産最終合意
- 検査装置他準備(当社)
- 工程監査
- 量産開始(当社)



次世代ガソリンターボに採用予定であるVG(Variable Geometry)方式は、現行ディーゼルトーボの700度近辺から1000度近くまで過給器内の温度が上昇します。タービン動翼に均一に効率良く、排気ガスをあてる為のノズルベーンを配するガソリンVGターボは、より低燃費かつハイレスポンスなガソリンターボとして期待されています。

2020年量産予定の本製品は現行ターボ部品ですが、当社は今年2月にPIM工法では世界初となる高温下で粒界すべり(転位が起きる事象)がなく、1000度近辺まで耐えうる転位強化ノズルベーンの開発に成功したことにより、次世代ガソリンターボ用ノズルベーンのサプライヤーとして有力であること、また、MIM(メタル・インジェクション・モールドディング)品で課題となっている内部欠陥、コスト面においても優位であることが今回の基本合意締結に至ったと考えております。

当社は2019年5月10日にリリースした下記、新5ヶ年計画(NP5Y-Challenge50)の中で2023年3月期より、受注開始を予定していた自動車部品事業におけるターボ部品の2年前倒しで量産する予定となりますが、高機能部品とスペーサーテープに注力予定であった第1次成長ステージ(~2022年3月期)を含め、中期経営戦略の方向転換も視野に入れ、本製品の量産に向け、努力して参ります。

